

## 平成19年度予算

平成19年度の各会計の予算総額は、407億3千610万円で、昨年度の当初予算額と比較すると0.1%の増加となりました。

一般会計が1.8%の減少、7特別会計の合計が2%の増加、水道事業会計が2.4%の増加となりました。また、一般会計において昨年度計上していた受託事業費や地域総合整備資金貸付金などの特殊要因を除いた実質的な比較では1.3%の増加になります。

平成19年度の予算は、三位一体の改革で行われる税源移譲により市税収入の増加が見込まれますが、市債償還や職員の退職手当の増加などにより大変厳しい財政環境となったことから、大型建設事業を抑制するとともに、経費全般に渡る徹底した節減合理化と事務事業の見直しを行いました。

一般会計の主な歳出では、総務費が統一地方選挙や参議院議員選挙に伴う選挙費の増加などから対前年度比25.8%増加の11億750万円、土木費は北海道からの受託事業が平成18年度で終了し道路事業費が大幅に減少したことなどから対前年度比16.5%減少の18億5千862万円、消防費は高規格救急自動車購入費などから対前年度比23%増加の1億1千31万円となりました。

また、市債の償還金にあたる公債費は、葬斎場や市民プールの元金償還が始まることなどから対前年度比8.9%増加の34億2千654万円、給与費は職員数の削減や給与制度の見直し、職員給与の独自削減に取り組みましたが、団塊の世代の定年退職が始まることから対前年度比3.1%増加の44億2千686万円となりました。

一般会計の主な歳入では、税源移譲が始まる市税が対前年度比9.4%増加の54億3千62万円、地方交付税は対前年度比4.5%増加の52億5千700万円、退職手当債を含む市債は対前年度比15.7%増加の13億8千350万円を見込みました。

平成19年度予算編成で生じた不足額は、市の貯金である財政調整基金積立金から5億8千万円、北海道市町村備荒資金組合超過納付金から3億円を取り崩して補いました。

## 『一般会計歳入』

- ◎市税…市民税や固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、特別土地保有税、入湯税があり、市の収入の約4分の1を占めています。
- ◎地方交付税…市が行わなければならない行政サービスを実施するため、財政状況に応じて国から配分されるお金。
- ◎使用料及び手数料…ごみ処理手数料や建築確認手数料、戸籍手数料など、利用した方が納める受益者負担金。
- ◎国庫（道）支出金…交付金や補助金、委託金があり、市が事業や事務を行うために国や道から交付されるお金。
- ◎繰入金…基金（家庭でいうと貯金）を取り崩して使用するお金。
- ◎諸収入…貯金の利子や貸付金の回収元金、利子、福祉施設に入所している方に負担金として納めていただくお金など。
- ◎市債…施設や道路などを整備する際、通常の財源だけでまかなうのが困難なため、借り入れするお金。
- ◎その他…自動車重量税や消費税などの税金の一部が国から交付されるお金など。

## 『一般会計歳出』

- ◎議会費…市議会に関することに使うお金。
- ◎総務費…国際交流や各地域との交流、広報広聴活動などに使うお金。
- ◎民生費…福祉に関することに使うお金。
- ◎衛生費…健康の増進や病気の予防、ごみの処理などに関することに使うお金。
- ◎労働費…労働に関することに使うお金。
- ◎農林水産業費…農業や水産業に関することに使うお金。
- ◎商工費…商工業に関することに使うお金。
- ◎土木費…都市基盤整備に関することに使うお金。
- ◎消防費…火災や救急業務に関することに使うお金。
- ◎教育費…教育に関することに使うお金。
- ◎公債費…借入金の返済に使うお金。
- ◎給与費…職員の給与に使うお金。
- ◎予備費…予備のお金。

## 特別会計・事業会計

### 『国民健康保険特別会計』

国民健康保険加入者の医療費の一部助成や各種検診の助成、健康づくりなどの事業を行います。

### 『学校給食事業特別会計』

子どもたちの栄養を満たすことができるおいしい給食を市内の小・中学校や保育所に調理・配送します。

### 『公共下水道事業特別会計』

都市基盤整備の一環である公共下水道を整備します。本年度は昨年引き続き登別方面の下水道を整備します。

この整備で、登別市の下水道普及率は約89%、整備面積は約1,040㎡になります。

若山浄化センターは、設備機器の更新を行います。

公共下水道整備区域外となる『個別排水処理区域』では、住民の要望により、市が浄化槽を設置・維持管理をする『個別排水処理施設整備事業』を行います。

### 『老人保健特別会計』

高齢者の医療費負担を軽減するため、医療費の一部助成などを行います。

### 『簡易水道特別会計』

札内地区などの飲料・営農用水施設の整備を行います。

### 『介護保険特別会計』

介護が必要な高齢者などを対象に、在宅や施設での介護サービスを行います。

### 『カルルス温泉スキー場事業特別会計』

カルルス温泉スキー場の運営を委託し、ウインタースポーツの振興と観光振興、カルルス地区の活性化を図ります。

### 『水道事業会計』

安全で良質な水の供給や送配水施設の整備などを行います。

## 各会計予算総括表

(単位：万円・%)

会計区分	平成19年度 当初予算額	平成18年度 当初予算額	比較増減	伸率(%)
一般会計	1,940,800	1,976,400	△ 35,600	△ 1.8
特別会計	1,978,180	1,940,209	37,971	2.0
国民健康保険	684,360	612,360	72,000	11.8
学校給食事業	33,620	33,420	200	0.6
公共下水道事業	277,270	316,710	△ 39,440	△ 12.5
老人保健	683,520	673,700	9,820	1.5
簡易水道事業	3,370	4,260	△ 890	△ 20.9
介護保険	283,420	288,100	△ 4,680	△ 1.6
カルルス温泉 スキー場事業	12,620	11,659	961	8.2
水道事業会計	154,630	150,980	3,650	2.4
収益的支出	93,170	92,530	640	0.7
資本的支出	61,460	58,450	3,010	5.1
合 計	4,073,610	4,067,589	6,021	0.1

※平成18年度当初予算額には、平成18年8月30日に設置したカルルス温泉スキー場事業特別会計を含めています。

### 一般会計歳入

(単位：万円・%)

費 目	平成19年度		平成18年度 当初予算額	比較増減	伸率(%)
	当初予算額	構成比			
市税	543,062	28.0	496,196	46,866	9.4
地方交付税	525,700	27.1	503,200	22,500	4.5
使用料及び手数料	61,652	3.2	63,353	△ 1,701	△ 2.7
国庫支出金	237,032	12.2	230,748	6,284	2.7
道支出金	85,455	4.4	133,892	△ 48,437	△ 36.2
繰入金	100,555	5.2	147,361	△ 46,806	△ 31.8
諸収入	126,667	6.5	101,545	25,122	24.7
市債	138,350	7.1	119,530	18,820	15.7
その他	122,327	6.3	180,575	△ 58,248	△ 32.3
合 計	1,940,800	100.0	1,976,400	△ 35,600	△ 1.8

### 一般会計歳出

(単位：万円・%)

費 目	平成19年度		平成18年度 当初予算額	比較増減	伸率(%)
	当初予算額	構成比			
議会費	14,884	0.8	16,622	△ 1,738	△ 10.5
総務費	110,750	5.7	88,017	22,733	25.8
民生費	585,010	30.1	594,050	△ 9,040	△ 1.5
衛生費	114,951	5.9	125,551	△ 10,600	△ 8.4
労働費	9,464	0.5	10,351	△ 887	△ 8.6
農林水産業費	6,258	0.3	28,755	△ 22,497	△ 78.2
商工費	26,909	1.4	34,688	△ 7,779	△ 22.4
土木費	185,862	9.6	222,531	△ 36,669	△ 16.5
消防費	11,031	0.6	8,967	2,064	23.0
教育費	85,341	4.4	97,990	△ 12,649	△ 12.9
公債費	342,654	17.6	314,603	28,051	8.9
給与費	442,686	22.8	429,275	13,411	3.1
予備費	5,000	0.3	5,000	0	0.0
合 計	1,940,800	100.0	1,976,400	△ 35,600	△ 1.8